



令和8年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 北海道ブロックラウンド 競技・審判運営上の確認

1 競技規則について

本大会は2026年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則及び競技要項により実施する。

ネットの高さは男子2m43cm、女子は2m24cmとする。競技は全て3セットマッチのトーナメント戦でおこなう。今大会は、中体連・高体連特別ルールは適用しない。今大会使用球は男子ミカサ製・女子モルテン製を使用する。

2 チーム構成について

- 1) チームは、有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー各1名、選手18名以内とする。必要に応じてドクター、通訳1名を加えることができる。そして、試合ごとに14名以内（2名以内のリベロを含む）の選手をエントリーすることができる。

なお、監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ1、公認バレーボールコーチ2、公認バレーボールコーチ3、公認バレーボールコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。

- 2) 部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナーのチームスタッフに変更がある場合は、代表者会議終了時まで今大会を通してチームスタッフ変更届を提出することによって、変更することができる。
- 3) 選手は18名エントリーとし、申し込みのあとからの変更を認めない。コンポジションメンバーは試合ごとに14名以内を選抜し、各チームは前試合の1セット終了後（第1試合は開始30分前）までに本部競技担当者まで提出し確認を受ける。（ユニフォームを確認する場合がある）

試合が連続する場合は、試合終了後速やかに提出すること。

- 4) 外国人選手の登録は2名までとし、試合ごとのコンポジションに記載できる外国人選手は2名とする。したがってベンチ入り2名、オンザコートも2名とする。ただし、Vリーグ所属チームについてはVリーグ規定を適用し、その内訳は外国人選手1名＋アジア枠選手の計2名とする。

5) リベロのエントリーについて

- ① 正規選手が12名以下の場合、リベロの数は0名～2名。
- ② 正規選手が13名または14名の場合、リベロは1名～2名。（天皇杯皇后杯ルール）

- 6) チームキャプテンと監督の両者は、チームメンバーの行為や規律に対して責任を負う。リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。

3 ベンチへの着席について

ベンチには有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・通訳各1名、選手14名以内の計20名以内の着席を認める。（ドクターについては、実行委員会が指定した席に着席する）着席の際、チーム役員は直径6cm程度の円台（色は自由）の役職マークを左胸部につけること。また、公式練習の際、コンポジションメンバー以外のエントリーメンバーがボールキーパーとして参加すること

を認める。その際は、試合用ユニフォーム以外のチームで統一された服装を着用すること。

4 試合開始時刻について

- 1) 第1試合開始予定時刻は、両日ともに10時とする。
- 2) 体育館の開場時刻は8時とし、8時30分から9時30分までは全チームを対象として、ネットボールを使用したウォーミングアップを認める。ただし9時30分からは第1試合のみの練習とする。第2試合については第1試合終了後19分間の練習後、プロトコールを行う。(第1試合がコートオフィシャルのため)
第3試合以降は追込みとする。なお、片方で試合を行っている場合は隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。
- 3) 同一チームが連続試合となる場合は、20分後にプロトコールを開始する。
- 4) プロトコール終了後、15分経過してもチームがゲームコートに現れない場合はその試合を没収する。
- 5) 各試合の当該チーム合同練習は時間設定をする。

5 コートワイピングについて

- 1) コート内の選手が各自用意しているタオルで、ラリー終了からサービス許可までの間に行うこと。
ただし、コンポジションメンバー以外のエントリーメンバーを最大2名クイックモップパーとして配置することを認める。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とし、位置は監督席と記録席の間、2名の場合はベンチの両端に各1名配置すること。なお、クイックモップパーはモッピングだけを目的とし、応援は慎むこと。
- 2) タイムアウト中、およびセット間については、ベンチにいる交代選手またはクイックモップパーがモップを使っても構わない。

6 リベロについて

- 1) リベロは、他の選手と対照的な色のユニフォームを着用すること。
- 2) サービスのホイッスルの後に行われるリプレイスメントは、サービスヒットの前であれば拒否されないが、そのラリー終了後に口頭でゲームキャプテンに注意される。同一試合内にリプレイスメントの遅れが再発した場合は、プレーは直ちに止められ、遅延行為に対する罰則が適用される。しかし、その時のリプレイスメントは、罰則の段階に関係なく認められる。
- 3) ラリーがノーカウントとなった時は、リベロのリプレイスメントはできない。
- 4) リベロが1人しかいなくなった場合や、1人しか登録されていない場合では、そのリベロがプレーできなくなったときやプレーできなくなったと宣言されたときには、監督(監督不在の場合はゲームキャプテン)はその時点でコート上にいない他の選手(リベロと入れ替わった選手を除く)を、試合終了までリベロとして再指名することができる。

7 ラリー中に選手が負傷し、ラリーが中断され、ノーカウントとなった場合、その選手の選手交代は認められるが、タイムアウトは認められない。

8 ユニフォームについて（シューズ・サポーターを含む）

- 1) 競技規則どおりの選手番号をつけた統一されたユニフォームを着用のこと。JVA が公認するメーカー製以外のユニフォームを着用する場合にはそのロゴを露出しないようにすること。露出する場合はその企業ロゴをマスキングする。
- 2) アンダーウェアを着用する場合、アンダーウェアの一部が ユニフォームの袖や裾、首等からはみ出しても良い。
 - ①チームメンバー全員が着用する必要はないが、着用する場合は色を統一しなくてならない。また、アンダーウェアの形状は統一されていなくてよい。
 - ②アンダーウェアの色はユニフォームのメインカラーと同色が望ましいが、ユニフォームの視認性・判別性を下げない色でも認められる。
- 3) ソックスについては、色、長さはチームで統一されているものとする
- 4) 医療を目的としたサポーター、コルセット類はプレー上危険、プレーに有利に働く場合を除いて規制はしない。しかし、明らかに色が違う医療用サポーターとコルセット類（腰用等）はユニフォームの下に着用すること。

9 チーム役員について

- 1) チーム役員は、ジャケットを着用するか、統一されたトレーニングウェアを着用しなければならない。
【補足 1】 襟の有無は問わない。（Tシャツ等でも可） 【補足 2】 ウェア公認メーカー以外のロゴの露出禁止
- 2) 監督がジャケットを着て、コーチ・マネージャーがトレーニングウェアを着てもよい。
- 3) 選手と異なるトレーニングウェアを着用する場合は、チーム役員で統一されたものを着用する。

10 その他

- 1) ベンチには飲料、救急用具などの必需品以外を持ち込まないこと。ボールケースはベンチには置かず、コート の 最 も 端（後方）に置くこと。
- 2) 今大会のコートオフィシャル6名（ラインジャッジ、点示）について、第1試合については第2試合のチームから、第2試合以降は、前試合の敗者が行うが、決勝戦のみ大会役員で行う。
- 3) コートワイピング用タオルの交換用を持参のこと。
- 4) 今大会は、代表者会議終了後、代表者にて開会式を行う。
また、北海道ラウンド優勝チームは、記念撮影があるのでビクトリーTシャツを着用すること。
- 5) 北海道ブロックラウンド優勝チームにはファイナルラウンドへの通過証を授与する。また、チームコメントを15分以内に提出すること。
- 6) 各チームは、水分補給など熱中症対策・体調管理に十分留意すること。